

しづかわ市民まなびの日 市内の「まなび」を集めた楽しいイベント



11月20日に市民会館で開催した「しづかわ市民まなびの日」。教育に関する各種団体が一堂に会して、パネル展示やステージでの活動紹介を行いました。協力団体による特設コーナーでは、保険会社による健康チェックや食品会社による食育アプリの体験ができたほか、お気に入りの絵や家族の写真でバッジを作る「オリジナル缶バッジづくり」は、子どもたちに大人気でした。



赤城地区文化発表会 日頃の活動の成果を発表



11月20日・21日に赤城公民館で、赤城地区文化発表会が行われました。絵画や写真、活動に関する展示発表と、ダンスや歌などのステージ発表を開催。当日は、大人から子どもまで、さまざまな年代の発表者が一堂に会して日頃の活動の成果を発表し、世代を超えた交流を楽しみました。

全国創作こけし美術展in渋川 創作こけしが来訪者を魅了



11月17日から23日にかけて、市民会館で27回目となる全国創作こけし美術展が行われました。期間中、独創的な芸術品、こけしの鑑賞に約2,000人が来場。今回は、18歳以下対象の絵付けコンクールを企画し、ホワイエに応募作品を展示。若者の豊かな発想や丁寧に彩られた作品も、訪れた人の目を楽しませていました。

保坂修平さんのジャズピアノリサイタル ジャズの生演奏を小中学生が鑑賞

11月30日、金島公民館で金島小・中学校の児童・生徒が、しづかわ観光大使のジャズピアニスト・保坂修平さんのリサイタルを鑑賞しました。保坂さんが同校の卒業生である縁で、PTAが主体となり鑑賞会を開催。子どもたちは、保坂さんの解説を手ほどきに、クリスマスの歌や定番曲などの、ジャズの自由で豊かな演奏に聞き入っていました。



認知症サポートデイ オレンジケア in 渋川・北群馬 認知症になっても安心して暮らせる地域へ



11月7日に市民会館で、認知症サポートデイ オレンジケア in 渋川・北群馬が開催されました。介護講談のDVD上映や認知症予防体操の体験教室のほか、認知症の人と関わりのある各種団体がそれぞれの活動を紹介するコーナーを開設。住民公開講座では、群馬大学名誉教授の山口晴保さんが、ユーモアを交えながら認知症との付き合い方について説明してくれました。



市国際交流協会の「国際理解講座」 ルーマニアの魅力を紹介



11月13日に中央公民館で、国際理解講座「名所いっぱいルーマニアの魅力」が開催されました。市国際交流協会のマウゼル・ダニエラ・エナさんが講師を務め、写真を中心としたスライドを使用して、中世の建造物が現存する数々の名所が紹介されました。講座に参加した17人は、興味深く説明に耳を傾けていました。

軽音楽イベント「GO TO MUSIC」 学生バンドなどが演奏を披露



11月13日に金島公民館で、GO TO MUSICが開催されました。ステージに立ったのは、渋川工業高校軽音楽部と県内で活動するアマチュアバンド。参加した7バンドは、スポットライトに照らされたステージの上で力強く演奏し、有名歌手のカバー曲やオリジナル曲を披露していました。

小中学校にサーマルカメラなどを設置 子どもが健康管理しながら感染対策

市は、感染症対策として、全小中学校にサーマルカメラ（非接触式体温測定器）と二酸化炭素濃度計を設置しました。サーマルカメラは、登校時に検温して子ども自身が健康管理をするため、二酸化炭素濃度計は、教室の換気を適切に行うために設置したものです。12月1日には、中郷小学校で使用が開始され、登校時の児童が体温測定をしていました。





当日の様子は
こちら

「共生社会実現とユニバーサルツーリズムを考える」シンポジウム 誰もがあきらめない観光から考える「共生社会」



11月23日と24日に伊香保の温泉旅館で「共生社会実現とユニバーサルツーリズムを考える」シンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、障害のある当事者や旅行業者、バリアフリーマップ制作団体などが講師となり、それぞれの立場から、全ての人を排除しない観光について意見を発表。翌日は、伊香保のまちなかを実際に歩いて、バリアフリーの状況を確認しました。



伊香保公民館「館長とたくさん歩こう！」 晩秋の伊香保の山を歩いて堪能



11月20日に、伊香保公民館を出発地として「館長とたくさん歩こう！」が行われました。参加した6人は、山中に残る茶屋跡などを確認したり、葉の落ちた木立からの風景を楽しんだり、晩秋の伊香保の山を堪能。徒歩で湯元から伊香保森林公園を登り、ワシノ巣風穴や、ときめきデッキなどを約3時間かけて巡りました。

渋川西小学校「学校公開デー」 保護者と一緒に学ぶ認知症



12月2日、渋川西小学校の学校公開デーで、保護者に授業が公開されました。4年生の授業では、地域包括支援センターによる「小学生のための認知症まなびの講座」を児童と保護者が受講。認知症の症状や認知症の人との接し方を寸劇を交えて学び、学んだ内容を〇×クイズで確認して、認知症への理解を深めました。

渋川工業高校の生徒が全国大会での活躍を報告 自動車研究部が全国大会で準優勝

11月に栃木県で開かれた電気自動車のレース「2021 Ene-1GP MOTEGI KV-40チャレンジ全国大会」の高校生の部で、渋川工業高校自動車研究部が準優勝しました。その報告として、12月3日に市長を表敬訪問し、レースの様子や使用した車両の説明、入賞の喜びのほか、次回大会への意気込みなどを伝えていました。

